

〈平成28年省エネルギー基準対応〉

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書(附属書)

自己適合宣言書番号	APS0001	附属書番号	APF0046-4
発行者の名称	YKK AP株式会社		
作成日	2017年4月1日	改訂日	2022年4月1日
商品	フレミングJ		
仕様	アングル付		
窓種	・勝手ロドア 断熱腰パネル付		

- 本附属書について
 - ・本附属書は、対応する自己適合宣言書とあわせてご使用ください。
 - ・本書の記載内容は、製品の仕様変更等によって、予告なく修正する場合があります。あらかじめご了承ください。
 - ・修正となった場合には、自己適合宣言書の更新によって公開いたしますので、常に最新の情報をご参照ください。
- 開口部の熱貫流率について
 - ・試験値は、JIS A 4710に基づく試験により測定された代表試験体の熱貫流率です。
 - ・計算値は、JIS A 2102-1に基づいて一般社団法人 リビングアメニティ協会が運営するWindEye(開口部の熱性能評価プログラム)により計算された代表試験体の熱貫流率です。
 - ・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」の「窓、ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲に定める基準」に基づき 選定したものです。
- 開口部の日射熱取得率について
 - ・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」に基づき計算された日射熱取得率です。

■ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率区分

		アルゴンガス入り														空気																								
		一般ガラス							合わせガラス*							一般ガラス					合わせガラス*																			
		透明				型			透明(30mil)		型(30mil)		透明(60mil)			型(60mil)		透明			型		透明(30mil)		型(30mil)		透明(60mil)		型(60mil)											
		P3P3	P4P4	P5P3	P5P5	F4P3	F4P4	F4P5	XAP3	XAP4	XJP3	XJP4	YAP3	YJP3	P3P3	P4P4	P5P3	P5P5	F4P3	F4P4	F4P5	XAP3	XAP4	XJP3	XJP4	YAP3	YJP3	P3P3	P4P4	P5P3	P5P5	F4P3	F4P4	F4P5	XAP3	XAP4	XJP3	XJP4	YAP3	YJP3
ガラス構成	室外ガラス厚	3	4	5	5	4	4	4	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3	4	5	5	4	4	4	3・3	3・3	3・3	3・3	3	4	5	5	4	4	4	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3		
	中空層厚	16	14	14	12	15	14	13	13	12	13	12	12	12	16	14	14	12	15	14	13	13	12	13	12	12	12	16	14	14	12	15	14	13	13	12	13	12	12	12
	室内ガラス厚	3	4	3	5	3	4	5	3	4	3	4	3	3	3	4	3	5	3	4	5	3	4	3	3	3	4	3	5	3	4	5	3	4	3	4	3	3		
日射熱取得率区分	Low-E	遮熱ブルー ☆	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	②	①	①	②	①	②	①	②	①	①	①	②	①	②	①	②	②	②	②			
		ブルー	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	②	①	①	②	①	②	①	②	①	①	①	②	①	②	①	②	②	②	②			
		ブロンズ	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	②	①	①	②	①	②	①	②	①	①	①	②	①	②	①	②	②	②	②			
		ニュートラル	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	③	①	①	②	②	③	②	③	②	③	②	③	②	③	②	③	②	③	②			
	一般複層ガラス	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	-	-	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	-	-	-	-		
	一般複層ガラス ☆	④	④	-	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	-	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	④	

・「ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率区分」は当社製ガラスの代表的なガラス構成に基づいて求めたものになります。本書に記載のない当社製ガラスを適用する場合、及び当社製ガラス以外のガラスを適用場合には、各附属書に記載の「開口部の熱貫流率・開口部の日射熱取得率 性能一覧」にてガラス中央部の熱貫流率の値より性能値を参照してください。

・熱貫流率区分および日射熱取得率区分ごとの性能値は「開口部の熱貫流率・開口部の日射熱取得率 性能一覧」の各区分記号の行を参照してください。

*合わせガラスの呼称は、中間膜の厚みが30milのものは「安全合わせガラス」、60milのものは「防災安全合わせガラス」となります。

☆:室内外ガラス構成は反転します。

■開口部の熱貫流率・開口部の日射熱取得率 性能一覧

区分記号	樹脂スペーサー仕様・アルミスペーサー仕様		開口部の熱貫流率 [W/mK]		開口部の日射熱取得率	試験値	計算値
	ガラス中央部の熱貫流率 [W/mK]		付属部材無し	風除室あり			
	1.5以下	1.6以下					
①	1.5	以下	3.27	2.47	0.11	○	
②	1.6	以下	3.83	2.77	0.13	○	○
③	1.7	以下	3.84	2.78	0.13	○	○
④	2.9	以下	4.25	2.99	0.14	○	○